

## 第28回東京都ジュニアサッカー大会フェアプレーカップ東京都中央大会

競技運営

出場チーム各位

1. 2009年11月14日(土)予選リーグ 15日(日)順位トーナメント 府中市少年サッカー場

2. 試合開始時間と開会式

14日 開会式 9時10分 全チーム参加する。

第1試合 10時00分

3. 競技方法
- (1) リーグ戦及びトーナメント戦
  - (2) 試合時間は40分 20分ハーフとし、インターバルは5分とする。  
トーナメント戦で規定の競技時間内に勝敗が決しない場合はPK
  - (3) トーナメントの決勝戦は5分ハーフの延長戦後PK
  - (4) 8人制による競技とする。
  - (5) コートの広さ、60m×38mを基準とする。
  - (6) 使用球は、4号 空気圧 0.5とする。
  - (7) 4ブロックでAからDまでの4グループに別グループ内での試合となる。
  - (8) 審判は1人制を採用する。

4. 競技規則 大会実施年度の財日本サッカー協会規則による。

\*2007・9・13日本サッカー協会審判委員会通達

『ペナルティーマークからのキック時のゴールキーパーの服装について』採用  
但し、以下の項目については少年用として大会規則を定める。

- (1) 試合ごとに8名以上の登録でチームを構成する。
- (2) 試合途中、怪我などの理由で7人以下となった場合は、その試合は続行するが次の試合は、参考試合とする。
- (3) 交代は自由な交代制。
- (4) 本大会において、退場を命じられた場合、次の1試合に出場できない。  
(それ以降の処置については本大会規律委員会で決定する)
- (5) 退場のピリオドは7人で戦い、次のピリオドは退場者を除く8人で行える。
- (6) ベンチに入ることの出来る人数は制限をしない。但し、引率指導者は3名とする。  
\* 引率指導者は2名は必ずベンチに入らなければならない。
- (7) テクニカルエリアを設置しない、戦術的指示はベンチにおいて立ってその都度ただ1人の引率指導者が伝えることが出来る。指示を与えた後はベンチに着席しなければならない。
- (8) 負傷した競技者の程度を確かめるため入場を許される引率指導者の数は1名とする。

本大会に参加する競技者は、登録選手証（写真貼付けされたこと）不携帯の競技者は当該試合への出場を認めない。

特設PKコートについて トーナメント戦では使用する場合があります。

## 5. 競技：運営について

### (1) チームベンチ

\*ベンチは、ピッチに向かってトーナメント表の左が左側ベンチ、右が右側ベンチを使用して下さい。リーグ戦では、表の上または番号の若い方が左側。

### (2) 試合前のウォーミングアップ会場

\*指定された場所で。

### (3) 試合中のウォーミングアップ

\*ベンチ後のスペースをご利用下さい。

\*ハーフタイムのピッチは次のチームが使用できます。

### (4) メンバー表の提出

\*各試合30分前に選手証と共に各グループ本部へ提出して下さい。

\*メンバー表は指定用紙に記入し2部各グループ本部へ提出。

### (5) 選手交代カード

\*「選手交代カード」をご使用下さい。

\*各項目に記入もれのないように。記入もれは受け付けられません。

### (6) ユニフォームについて

\*審判部の指示に従って下さい。

\*正副・濃淡2着を用意すること。(パンツ、ストッキングも含む)

\*背番号・胸番号のついているもの。

\*上記の番号は選手固有のものとする

\*ユニフォームチェックは開会式終了後、リーグ戦グループごとに行う。

### (7) メンバーチェックについて

\*選手は試合開始10分前に指定場所でチェックを受けること。

### (8) 挨拶について

\*試合終了後のチームベンチへの挨拶は、今大会では行わない。

尚、審判へも同様とする。

## 6. その他

### (1) キックオフ前後のセレモニーは行いません。

### (2) 暑熱下においては前後半の中程で飲水タイムを採用いたします。

実施はWBGTの計測、熱中症予防の為の状況データで大会本部で決定し実施する場合は、各セクション、チームに伝える。(キックオフ30分前)

### (3) 会場関係

大会当日会場に来る指導者、保護者、選手、関係者に会場使用の注意事項を徹底する。

ハンドブック記載の中央大会参加に関する要件を厳守する。63P,64Pを参照下さい。

### (4) バーナー(応援幕)は、応援席側のみとする。

カウントダウン

- 0 : 3 0	- 0 : 1 0	0 : 0 0
-----------	-----------	---------

メンバー表提出	選手チェック	キックオフ
---------	--------	-------

### 競技規定付記

ルールの基本的な考え方

- : 選手のフェアプレー精神を養う。
- : 審判員を信頼し、判定に対して不平不満を表さない。
- : 指導者や、保護者、応援する大人など、大人のフェアプレー精神を養う。

審判員の運営上の留意点

- : よく動き、良い位置取りを心がけて説得力のある判定を目指す
- : オフサイドの判定については、主審の見解で明確な場合のみ罰し、原則的に「疑わしきは罰せず」の考え方をとる。  
スローインについては、ファールスローなどの原則を探すのではなく、明らかな場合のみを罰し指導を行う。
- : フェアプレー精神、良いマナーを養う目的から判定に対してや、他人に対しての言動にも注意をはらい、指導していく。